

令和3年度 学校評価シート 島根県立江津高等学校

評価: 4(十分に達成できている状況) 3(おおむね達成できている状況) 2(どちらかと言えば達成できていない状況) 1(ほとんど達成できていない状況)

教育目標		重点目標	担当分掌等	具体的目標	江津高校の教育活動	校内評価	学校関係者評価	来年度への取り組み
【校訓】 思慮 高邁 貫徹 誠実を尊び真理と正義を愛し、合理的精神に富む人物の育成 意志強固にして勤勉努力する実践的人間の育成 豊かな徳性をそなえ和合協力してことに当たる人間の育成	【育てたい生徒像】 健康で安全な生活を実践し、持続可能な社会の創り手となるような地域課題の当事者として自覚するとともに、自らの成長のために挑戦する生徒	生徒が出会いを通して感動し、意欲的になる機会を与えます。	総務部	PTA、地域の方と連携する。	ホームページやPTA広報誌を発行する。	3.1	◆地域の方から「江津高生はすごい」という声を聞く。それは、江津高生が積極的に地域活動に参加したり、自分の考えを語ったりする場面を見かけるから。そうした江津高生の動きが、地域の方々にもいい影響を及ぼし、地域活性化につながっていると感じる。 ◆総探で1年生達が大人にしっかりと自分の質問や意見をぶつけていたのが素晴らしい。この子達が3年生になっていくのが楽しみ。 ◆学校としての特色をしっかりと出すことが重要。「何でも満遍なくやります」は、打ち手としては悪手。 ◆探究学習発表会を始め、せっかく生徒達が様々な試みをしているので、ぜひ活発な情報発信を。 ◆進路指導に関して、地域看護以外にも地域が協力できる。様々な業種の方々が、進路希望に応じて「伴走者」としてアドバイザーできる。声をかければ、すぐにでも動いてくれる人が江津にはたくさんいるので、活用してほしい。	【総務部】 ○メール配信・HP更新を各部署で担当できるようにして、最新データの更新を図る。 ○江星会・PTAなど地域の人材を活用できる場(行事・講演会・講義等)を創出する。 ○学校行事の中で生徒が企画・運営できるものがあれば、まかせてみる。 ○行事の精選について、原案が提示できるように検討する。 【教務部】 ○1人1台端末事業に伴う公開授業・研修の実施。互見週間による授業改善。 ○令和4年度以降の入学生に関する観点別評価、教務規程、教務内規の完成。 ○評価や授業のあり方、学力向上等について、教科主任会で情報を共有する。 ○朝読書週間の実施。 【生徒部】 ○学校行事の企画・運営を生徒(生徒会)主体で行うための仕組みづくり。 ○委員会活動を活発にする。 ○規程等を見直す。特に服装規定、自動車学校、生徒心得等。規程によっては生徒と協議の上改訂できるようにする。 ○立ち番廃止・あいさつ運動の時期を限定等、働き方改革を行う。 【進路指導部】 ○各教科と調整し平日8限補習を実施する。 ○保護者からの要望に応え、夏期補習に加え冬期補習を行う。 ○模試の有効活用を促進する。 【1年部】 ○入学当初の橋渡し教材とマナトレで中学校の学習内容の定着を図る。 ○学習習慣を確立する。 ○総合的な探究の時間を通して自己理解を推進する。 ○総合的な探究の時間や学校行事等を通じて、互いを理解し、寛容さを身につけ、自ら行動できる力をつける。 【2年部】 ○保護者や部顧問と連携したり、就職希望者のチームで情報や目的意識を共有するなど、生徒1人1人の進路希望を実現するための工夫を重ねる。 ○個人添削の継続や、上位者のチームで情報や目標を共有することで、上位者を伸ばす。 ○朝礼開始までの朝学習を推進する。 【3年部】 ○「応援したくなる3年生」「成長を実感できる3年生」へ ○個々に対応した指導の徹底と、個々の進路決定に対応した支援を行う。 ○総探について、進路決定者や希望者による自主的な活動の機会を作る。 ○1・2年次より、自分事として進路を意識させるために、授業だけでなく、総探・部活動・ボランティアなどの諸活動や、資格取得等についても早くから取り組ませ、校内でサポートできる体制を作る。 【事務部】 ○校地内の施設・設備点検等を実施し、安心・安全な環境整備を図る。 ○「業務量の削減」と「業務の効率化」に取り組む。
			教務部	総合学習・総合探究を支援する。	必要なICT機器の利用を補助する。	3.0		
			生徒部	地域との関わりの中で豊かな心を養う経験を支援する。	ボランティア活動に積極的に参加させる。	2.2		
			進路指導部	キャリアパスポートの作成を通じ、生徒ひとりひとりのの将来を見通した進路設計の支援を行う。	キャリアパスポートの全体計画を策定し、計画的に活動に取り組ませる。	3.2		
			学年部	1年：地域や社会との関わりを意識し、自己の成長につながる経験をする。 2年：地域の人々との活動の中で、地域や社会との関わりを意識し、自己の成長につなげる。 3年：目標設定や振り返りを通して自己を見つめ直し、自分に必要な力を理解する。	1年：総合的な学習・探究の時間で、地域との関わりを意識し、自己理解を深める。 2年：総合的な探究の時間の課題探究学習などにおいて、地域の人々と関わりながら活動に取り組む。 3年：振り返りシート等を活用して目標設定や振り返りを自分の言葉で表現させ、面談を通して意識を深めさせる。	3.3		
			事務部	①学校施設・設備の安全安心な環境を整備する。 ②学校予算の効率的・効果的な執行を行う。	①-1 校地内施設・設備等の日常点検等により、問題の早期発見に努め、事故等の未然防止に取り組む。 ①-2 計画的に校内の整理・整頓、不用品の処分等を行い、優先順位を考慮しながら、教育環境の向上に努める。 ②-1 適切な予算管理を行い、必要性・費用対効果等を勘案しながら執行する。 ②-2 就学支援金、奨学のための給付金等の制度周知に努め、保護者の負担軽減を図る。	3.6		
		総務部	広報活動を充実させる。	式典・行事の準備や片付けを生徒主体に行う。	3.2			
		教務部	主体的な学習習慣を身につけられるように支援する。	学習時間調査を通して、生徒個々や教科別の学習時間を共有する。	2.7			
		生徒部	学校生活や部活動を通して、健康の大切さを意識させるとともに、意欲的・自発的に行動することを支援する。	1 委員会活動を毎月1回以上開催する。 2 保健だよりを毎月1回以上発行する。 3 保健に関する講演会を各学年1回実施する。	3.0			
		進路指導部	進路実現に向け生徒が自ら考え、判断し、表現する機会を準備し、支援する。	進路希望調査、スタディーサポート、進路サポートなどを活用することで生徒が自らの進路に向き合う機会をつくる。	3.4			
		学年部	1年：生活や学習に主体的に取り組み、高校生としての基盤を作る。 2年：課題を発見し、主体的に探究する対話的・共同的な活動を通じて、自己の考えを表現する力を身につける。 3年：進路実現への意識を高め、さらなる成長を目指して挑戦する。	1年：1 学習時間調査を利用して、授業を大切に学習習慣の確立を目指す。 2 挨拶や身だしなみにおいて、高校生らしいふるまいを身につける。 2年：総合的な探究の時間の課題探究学習を通じて、主体的・対話的・協働的に活動し、発表する機会を設ける。 3年：補習、添削指導、資格取得など、生徒が自己を高めるための機会を提供し、主体的に取り組める環境を整える。	3.2			
		総務部	生徒が協働する場を設定する。	保護者・生徒・教職員が協力できる奉仕作業を企画する。	2.0			
教務部	読書に対する興味関心を高め、多様な知識や教養を身につけることによって、多様性を受け入れる態度を養う。	・図書館だよりを毎学期に2回発行する。 ・年2回の読書週間を実施する。	3.6					
生徒部	多様性を尊重し、人間関係力を高められるよう支援する。	1 「人権・同和教育だより」を発行する。 2 アンケートQ Uを実施する。 3 人権・同和教育に関するHRを各学年で実施する。	2.4					
進路指導部	自らの進路探究を通じ学ぶ力を伸ばし、地域の一員として地域社会に貢献しようとする志を育てる。	進路補習等で生徒の進路志望を実現する学力を育成し、面接・小論指導を行うことで生徒の進路志望と社会とのつながりを探究させる。	3.2					
学年部	1年：他者との協働活動を通して価値観の多様性を理解し、自己意識を高める。 2年：学力向上や進路希望の実現に向けて家庭学習の習慣を身につける。 3年：地域や学校への愛着を養い、社会で必要となる実践力を身につける。	1年：部活動や総合的な探究の時間において、他者と積極的に協力して活動する。 2年：学習時間調査や生活時間調査を利用して、家庭学習の習慣を身につける。 3年：総探での新聞学習・小論文指導・特別講座やボランティア活動等を通して、社会とのつながりを意識させ、将来に必要な実践力を身につけさせる。	3.0					